

**[成果情報名]10月中旬から出荷可能な良食味ウンシュウミカン新品种「長崎果研原口1号」**

**[要約]**「長崎果研原口1号」は「原口早生」の枝変わり系統の珠心胚実生から選抜した10月中旬から出荷可能なウンシュウミカンである。原口早生と比べ着色が早く、10月下旬に7分着色となり、糖度（Brix）は高く、クエン酸含量が低いいため甘味比は大きい。

**[キーワード]**ウンシュウミカン、「原口早生」、枝変わり、珠心胚実生

**[担当]**長崎県農林技術開発センター果樹・茶研究部門カンキツ研究室

**[代表連絡先]**電話 0957-55-8740

**[分類]**普及成果情報

**[背景・ねらい]**

長崎県では10月に消費者が求める品質となるウンシュウミカン品種が少なく、10月下旬の単価下落が大きくなっている。また作業労働力分散のためにも、高品質生産が可能な新品种が求められている。長崎県内で発見された「原口早生」は、11月出荷の早生ウンシュウでじょうのうが軟らかく食味良好で市場ニーズも高い。そこで「原口早生」の枝変わり由来の珠心胚実生で10月出荷が可能で糖度が高く食味の良い早生ウンシュウミカンを育成し、その品種特性を明らかにする。

**[成果の内容・特徴]**

1. 樹姿は開張、枝梢の密度は中、樹勢はやや弱い。「原口早生」より葉身の大きさおよび葉身長は小さい。また花卉の長さおよび幅は小さい（表1）。
2. 果実は果形指数130程度の扁球、果皮色は鮮黄橙、果肉色は橙である（表2、写真1）。
3. 育成地では10月下旬に7分着色、糖度（Brix）は10.7、クエン酸含量は0.8g/100mlとなる。甘味比は同時期の「原口早生」より大きい（表3）。
4. 育成地での成熟期は10月15～30日で、10月中旬から出荷が可能である。浮き皮果は10月下旬から発生する（表3）。

**[普及のための参考情報]**

1. 普及対象：長崎県内生産者
2. 普及予定地域・普及予定面積：長崎県内 100ha 生産量 1,500t（2029年）
3. 2016年6月28日に品種登録出願公表され、現在審査中である。
4. 高品質生産のためにシートマルチ栽培が望ましい。

[具体的データ]

表1 高接ぎ樹「長崎果研原口1号」の樹体特性（露地栽培2015年）<sup>z</sup>

品種名	樹姿	枝梢の密度	樹勢	枝梢の太さ(mm)	枝梢の長さ(cm)	節間長(cm)	葉身の大きさ(cm <sup>2</sup> )	葉身長(cm)	花弁の長さ(mm)	花弁の幅(mm)
長崎果研原口1号	開張	中	やや弱い	中(3.4)	短(12.3)	短(1.2)	中(29.1)	中(9.7)	中(17.4)	中(6.5)
原口早生	開張	中	やや弱い	中(3.2)	短(11.9)	短(1.2)	中(32.4)	長(10.3)	長(20.3)	広(7.0)
有意性 <sup>y</sup>	-	-	-	*	ns	ns	*	*	*	*

<sup>z</sup> 2011年に「原口早生」(15年生)を中間台に接ぎ木、調査は農林水産省品種登録審査基準に基づき調査

<sup>y</sup> \*はt検定により5%水準で有意差あり、nsは有意差なし

表2 高接ぎ樹「長崎果研原口1号」の果実特性（露地栽培2015年）<sup>z</sup>

品種名	果実の形	果実重(g)	果形指数	果皮の色	果肉の色	果心の充実度	果心の大きさ	糖度(Brix)	クエン酸含量(g/100ml)	浮き皮 <sup>y</sup> 発生程度
長崎果研原口1号	扁球	112.4	133	鮮黄橙	橙	中	中	11.0	0.74	0.0
原口早生	扁球	123.6	126	鮮橙黄	橙	密	小	10.6	0.90	0.0
有意性 <sup>x</sup>	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-

<sup>z</sup> 2011年に「原口早生」(15年生)を中間台に接ぎ木、農林水産省品種登録審査基準に基づき調査、果実は2015年10月21日調査

<sup>y</sup> 浮き皮発生程度：無(0)軽(1)中(2)甚(3)の4段階で指数=Σ(発生程度別果数×発生程度)/(3×調査果数)×100

<sup>x</sup> \*はt検定により5%水準で有意差あり

表3 高接ぎ樹「長崎果研原口1号」の果実特性の時期別推移（露地栽培2013～2015年）

品種名	調査日 <sup>z</sup>	果形指数	果実重(g)	着色歩合	果皮色 <sup>y</sup> カラーチャート	浮き皮 <sup>x</sup> 発生程度	糖度(Brix)	クエン酸含量(g/100ml)	甘味比	成熟期
長崎果研原口1号	10月上旬	130	111.8	3.9	3.0	0.0	10.1	0.84	12.0	10/15～30
	10月下旬	127	115.7	7.2	5.1	10.0	10.7	0.84	12.7	
	11月上旬	130	138.8	8.6	7.5	41.1	10.5	0.73	14.4	
原口早生	10月上旬	123	123.5	1.8	2.7	0.0	9.8	1.12	8.8	11/1～15
	10月下旬	124	117.3	5.2	5.2	2.2	10.3	0.92	11.2	
	11月上旬	129	102.8	8.1	7.3	3.3	11.3	0.82	13.9	

<sup>z</sup> 調査日：2013年10月10、24日、11月6日、2014年10月14、28日、11月10日、2015年10月9、21日、1～3樹調査

<sup>y</sup> 農林水産省果樹試験基準 果実カラーチャートオレンジ色系を使用、果実赤道部の最大値

<sup>x</sup> 浮き皮発生程度：無(0)軽(1)中(2)甚(3)の4段階で指数=Σ(発生程度別果数×発生程度)/(3×調査果数)×100

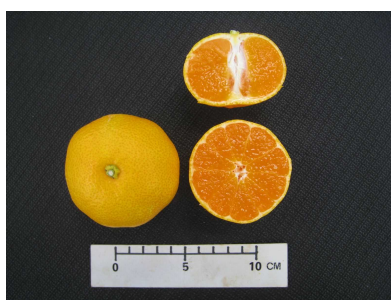


写真1 「長崎果研原口1号」の果実断面

(早崎宏靖)

[その他]

研究担当者：早崎宏靖、古川忠、園田真一郎、林田誠剛、谷本恵美子、高見寿隆、根角博久（現（国）農研機構九州農研セ）

発表論文等：

- 1) 早崎ら「長崎果研原口1号」品種登録出願公表(第30994号)2016年6月28日
- 2) 早崎ら(2016)園芸学研究13(2)：90